

当館職員の新型コロナウイルス感染について

1 概要

1月22日（金）、国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町）の職員1名が、新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明しました。

なお、当該職員には現時点で症状がないため、自宅療養中です。

2 経緯

1月12日（火）同居者の感染が判明

1月13日（水）以降 出勤なし

1月20日（水）PCR 検査を受検

1月22日（金）陽性が判明

3 職員の従事状況等

当該職員は、国立国会図書館東京本館において利用者サービス業務に従事しております。

なお、同職員を含め来館サービス部門の職員は、普段からマスクを着用した上で業務に従事しているため、濃厚接触にあたる接触はございませんし、現時点で、他の職員に発熱等の症状はございません。

また、国立国会図書館東京本館では、平素からカウンターや閲覧席等の消毒作業を行っております。

今後とも、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点及び職員の健康保持を最優先に、的確に対応してまいります。

● 本件問合せ先

総務部総務課広報係 03-3506-3307（直通）